

「かわせみ会」便り

令和6年 9月号
俳句を楽しむ会



“季語刻変秀句”

【5月度】 “若楓の日陰を借りて杖を置く”

【6月度】 “いと寂しまばらに咲きし花菖蒲”

夏到来の期待と楽しさを詠みました。

また屋外で詠む吟行をしました。カワセミ会での初めての挑戦でした。

5月度の詠句

妻ありしままの筆筒や更衣
河原風瀬音に憩う通し鴨
夏日風木の葉キラキラ乱反射
田植え待つ映る青雲山緑
青鷺の水張る田んぼ虫つつく
思い立ち窓を開ければ初夏の風
タンス開け色どり選ぶ更衣
風薫る君を見守り初散歩



皆さんの投句をお待ちしています！！

6月度の詠句

晴れ続き負けず紫陽花大輪で
下校路の水玉光る紫陽花
咲き乱り垂る大輪濃紫陽花
雨音に小窓開ければ梅雨の風
腕広げ孟宗の子ら里山に
短夜や瞑りてラジオ深夜便
日傘さし緑の小道急ぐ君
朝陽射す葦光りて夏近し

◆ 写真を見て一句

【5月】新緑

新緑に濃淡競う山容や
新緑の木漏れ陽の中君がゆく
新緑や踊るポプラ葉風リズム
風そよぐ新緑の下家族連れ
新緑のかぶさる道を登り行く



【6月】花菖蒲(吟行)

枚方山田池公園 (初)

菖蒲園にて吟行実施！

風流な新名札のみ菖蒲園
鉢に咲く二輪三輪花菖蒲
花菖蒲の佳き名や古歌に想い馳せ
花びらの垂れて静かな花菖蒲
段々の水流れ落ち花菖蒲



会員の皆さんへ
気軽に投句を！

担当幹事：鳥越・園田・金子